

市町村名	南大東村
------	------

平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-③	星野洞機能強化整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア
担当部課名	産業課	事業実施(予定)年度	平成29年度	観光リゾート産業の振興
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-1

事業内容
 星野洞は、神秘的な空間が広がる島一番の自慢できる観光施設である。昭和63年に実施したふるさと創生事業を活用して、観光客に観賞できるよう整備された星野洞は、27年が経過をして洞内の証明施設やセンサー等が故障して洞内観光に支障を来している。又、現照明施設は鍾乳石に悪影響を与える高温を発する照明であることから、全てをLED照明に取り替えて学術にも貴重な鍾乳洞の環境保全と観光振興を図りたい。併せて、入洞扉を強化および動く歩道の稼働手摺りを整備し安全確保を行うと共に専門家への鍾乳洞診断を委託して洞全体の機能強化を図る。

効果発現年度
 当年度 後年度(平成30年度)

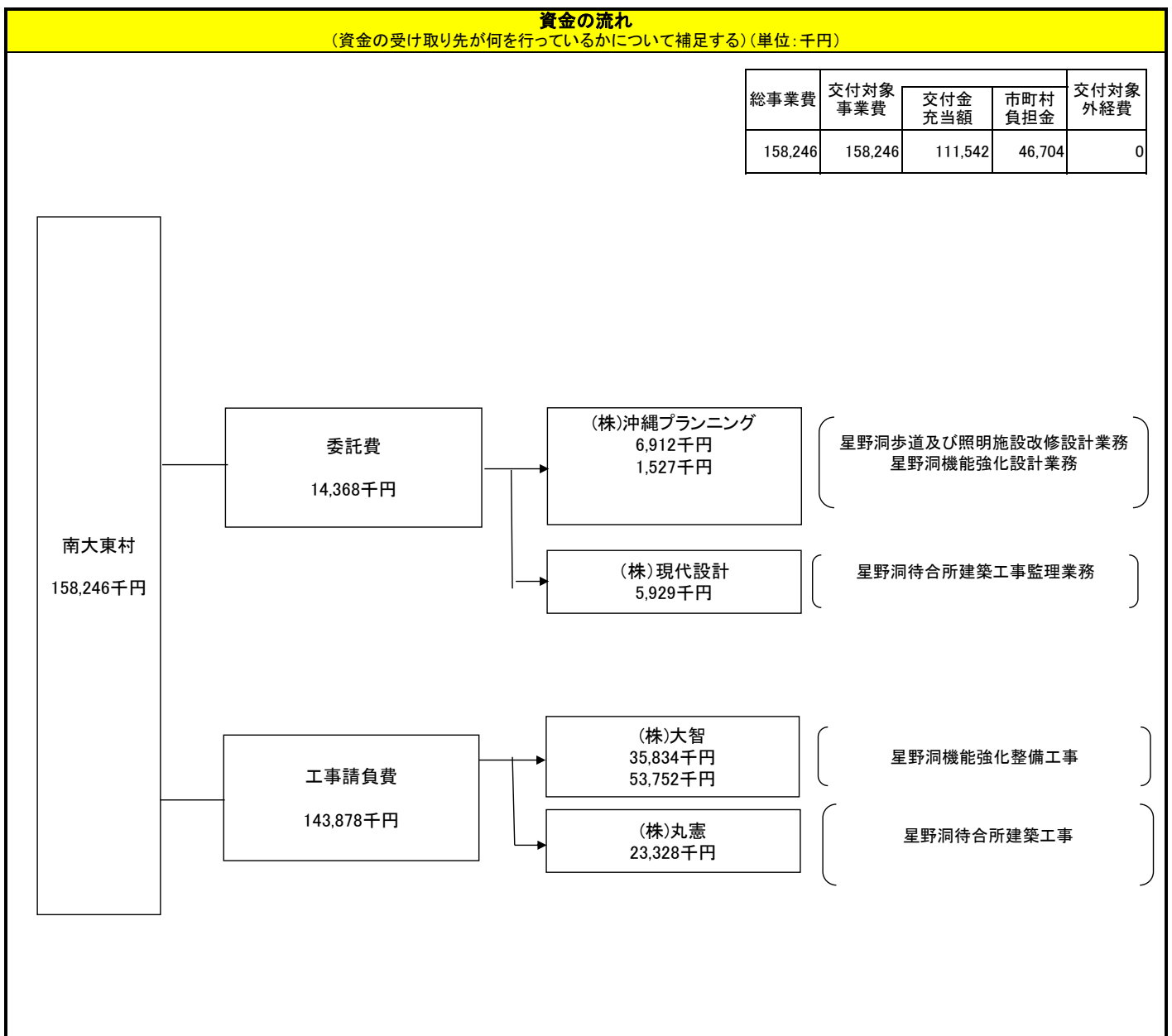
実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額		90,840			
	(b) 予算現額		158,246			
	(c) 増減額(b-a)	0	67,406		0	0
	(d) 繰越額	-		145,768		
	A. 計(b+d)	0	158,246	145,768	0	0
	B. 執行済額		12,478	145,768		
	うち交付金充当額		9,982	101,560		
	次年度繰越額		145,768			
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	7.9%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	当初予算90,840千円であったが、人件費および鋼材等の高騰により不測の日数を要したため工事費143,878千円、委託費1,890,000円を繰越した。また、沖縄本島からの作業員確保のため、旅費および宿泊費等により増額し67,406千円の工事費となった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		設計の実施	目標 ()	()	(基本設計、実施設計の実施)	()
	実績			基本設計、実施設計の完了		
	星野洞機能工事の実施	目標 ()	()	(整備工事、建築工事、機能工事の完了)	()	()
	実績					
達成状況説明	経年劣化した洞内の証明施設やセンサー等の故障により洞内観光に支障を来し、また、現照明施設は鍾乳石に悪影響を与える高温を発する照明であることから、全てをLED照明に取り替えて学術にも貴重な鍾乳洞の環境保全と観光振興を図った、また、入洞扉を強化し動く歩道の稼働手摺りを整備することで安産対策を行うと共に専門家への鍾乳洞診断を委託して洞全体の機能強化を図った。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R3年度)
			設計の完了	目標 ()	()	(1棟)	()
	星野洞機能強化工事の完了	実績			1棟		
	【R3成果目標】年間入洞者数	目標	()	()	()	()	(2,400人)
		実績					
進捗状況説明	星野洞内の機能強化を行うことで、環境保全と入洞者の安全確保ができ、今後の観光振興を図る上で大きな成果となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・洞内の照明をLEDに変更することで、貴重な鍾乳石の環境保全に努め更なる観光資源としての役割は大きい、狭い空間であることから、同時に多くの入洞者を入れることは留意すべきと考えられる。</p>	<p>・緊急用の通報設備は整っているが、怪我や病人などの緊急時には管理者への負担は大きく、今後改善すべきと考えられる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・現在、南大東村観光協会と指定管理者契約を行い運営しており、また、安全対策として非常ベルを設置した。今後は、より安全に考慮した取り組みとして緊急時における対策も指定管理者と村で早急に協議し、迅速且つ、安全第一に、観光客等が安心して見学できるように対応していく。(村で定期的実施している救急訓練等に取り入れるよう検討する。)</p>		



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○契約相手方は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正であった。 ○事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南大東村					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	南大東村防災体制強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	防災及び国土の保全		
事業内容	大規模な自然災害に備え、防災備蓄品等を整備する。又、海岸に向かう主要道路にゲートを設けて、住民や来島者の安全を確保する						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(平成30年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額		11,480			
	(b)予算現額		15,759				
	(c)増減額(b-a)	0	4,279		0	0	
	(d)繰越額	-		5,469			
	A.計(b+d)	0	15,759	5,469	0	0	
	B.執行済額		10,290	5,469			
	うち交付金充当額		8,231	953			
	次年度繰越額		5,469				
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	65.3%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	海岸進入防止ゲート工事については一部の海岸(海軍棒プール入り口)が「南大東島東海岸植物群落に指定されているため、現状を変更する際は文化財保護法の規定により、文化庁へ現状変化許可申請を行い許可を得る必要があり、協議に不測の日数を要したため、年度内の完了が困難となり、5,469千円は繰越となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	・住民の非常用物資・資機材等の整備 ・住民及び観光客の安全確保	目標	()	(備蓄機材調達の委託、海岸進入防止ゲート工事)	()	()	
		実績		備蓄機材調達の委託、海岸進入防止ゲート工事			
	・被災時における不明者の搜索範囲の拡大	目標	()	(備品購入費(ドローン))	()	()	
実績			備品購入費(ドローン)				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な自然災害に備え避難者に対し、いつでも防災備蓄品を供給できるよう調達し保管している。 ・海岸に向かう主要道路(3箇所)にゲートを設置し住民や観光客等の来島者安全確保が図れる。 ・災害等の被災時における行方不明者の搜索拡大を図るため備品(ドローン)を購入し、行方不明者が発生した場合に迅速に対応できるように保守点検等を月に1回実施している。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R1年度)	
	・非常用物資・資機材等・備品等の必要分を100%整備 ・搜索範囲の増16万㎡ ・海岸進入禁止ゲート設置完了	目標	()	()	(完了)	()	()
		実績			完了		
	【R1成果目標】 海岸における水難事故件数0件	目標	()	()	()	()	(0件)
実績							
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・未だ実用はしていないが、大規模な自然災害に備え避難者に対し、いつでも防災備蓄品を供給できるよう調達し、各字(6字)へ配布し集会場へ保管している。 ・備品(ドローン)を導入後、災害等における行方不明者は発生しておらず、未だ実用はしていないが定期的に行われる防災訓練等で演習を行っている。 ・海岸進入禁止ゲートは村内に波浪警報及び波浪注意報が発令された場合は職員が速やかに閉鎖して施錠を行う。又、警報及び注意報が解除された場合も速やかに閉鎖の解除も行っている。 						

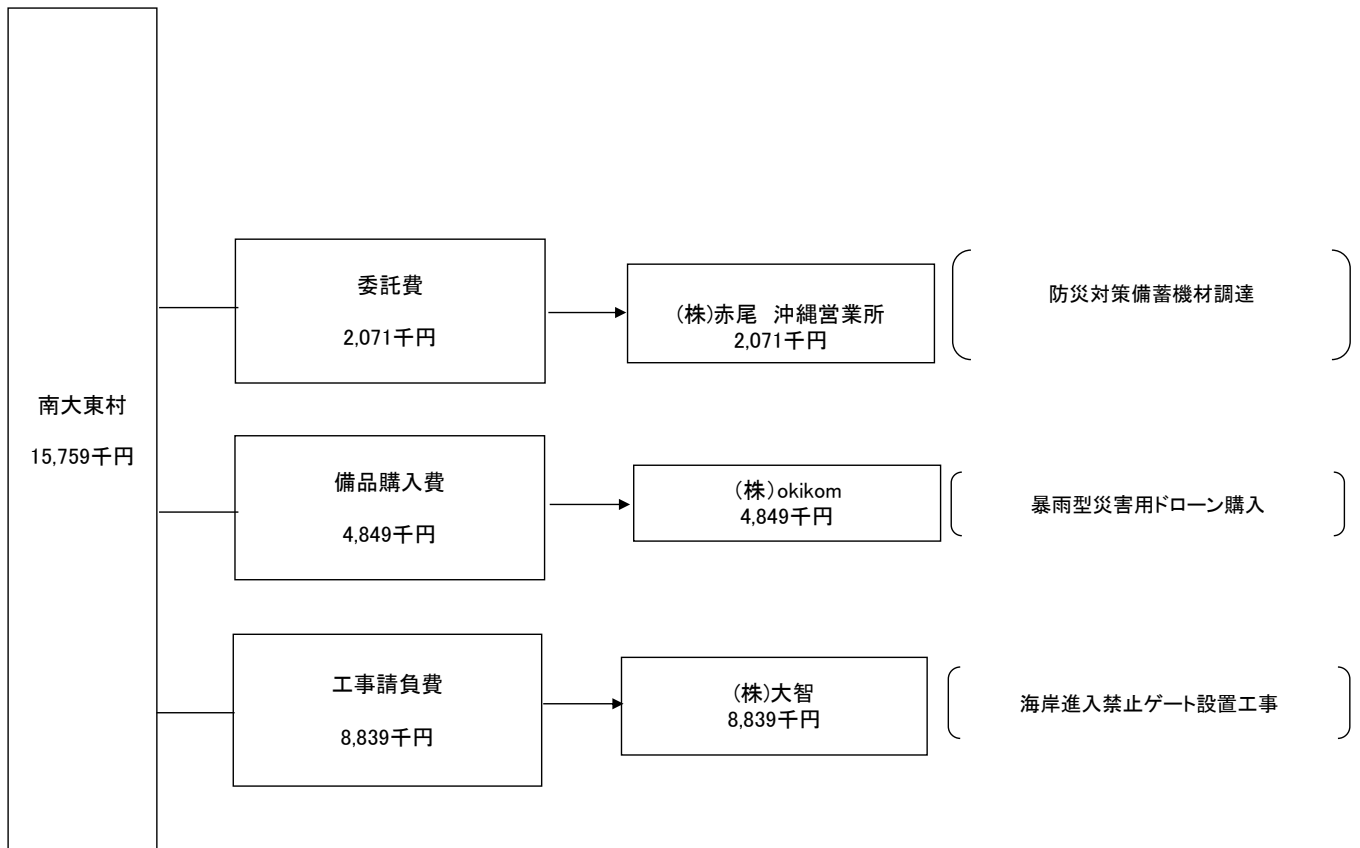
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・防災備蓄品においては、村内の各字へ配布しているが、災害等が発生しない間は使用せず保管したままになるおそれがある。 ・備品(ドローン)については、災害時に迅速に対応できるよう保守点検を含め、体制を整えている。 ・海岸進入禁止ゲートについては、波浪警報や注意報が発令されたら閉鎖するが、風下にある海岸は注意報が発令されていても然程波が高くない場合もあり、魚釣りや遊泳をしたい住民や島外の来島者から閉鎖に対し時々不満の意見がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災備蓄品については、各字の区長をとおり、定期集会等で点検を実施させ災害時に迅速に対応できるよう整えさせる。 ・備品(ドローン)については、これまでどおり月1回の保守点検を実施し災害時に備える。 ・海岸進入禁止ゲートの閉鎖に関しては住民や島外の来島者の安全確保を図るため、本件の趣旨を行政懇談会、広報誌、各字の集会等とおして周知させ安全第一を基本に理解を得てもらう必要がある。

今後の取り組み方針

村消防団、区長会、その他関係機関と連携し、防災救急訓練等を実施しながら、防災備蓄品や備品等を実際に使用し取扱の知識と技術を取得させ、実際に予期せぬ緊急事態や自然災害が発生した場合に備える。又、海岸進入禁止ゲートは海上波浪警報や注意報が発令されれば、これまでどおり速やかに閉鎖し、住民や来島者の理解を得ながら安全確保に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,759	15,759	9,184	6,575	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価、 費用	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約相手方は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正であった。 ○事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	